

令和6年度登録手話通訳者認定試験 手話技能試験
手話の表現

「こども食堂 オープンあいさつ」

本日、市内に11番目のこども食堂として『こぼとの家』をオープンすることができ、大変うれしい限りです。これもひとえに、行政の担当者をはじめ、関係団体や地域の皆さまのご支援、ご協力の賜物と感謝しております。

こども食堂とは、子どもの居場所づくりの取り組みの一環として行っている活動です。ひとり親や共働き世帯など、さまざまな事情により、子どもだけで留守番や食事をしなければならない家庭のために、地域住民や自治体が主体となって、食事や居場所を提供しています。こども食堂は、市内でもいくつかの団体が定期または不定期に開催しており、子どもだけでなく大人も利用できるなど、食事の提供と共に地域住民のコミュニケーションの場としての役割も担っています。

わたし自身も母子家庭ですので、子どものことは最優先に考えなければならなかったのですが、仕事や離婚のことで気持ちに余裕がなく、実家も遠方のため頭を悩ませていました。仕事で疲れて帰宅すると、食事の用意は体力的にも時間的にもままならず、かといって毎日お惣菜を買うには金銭的にも栄養面でも心配でした。

周囲に相談しているうちに、知り合いのカフェが定休日に場所の提供を申し出てくれ、まずは不定期でお試的に始めてみました。目指したのは、近所の人がおかずをお裾分けするような感覚で、お母さんたちが集まって子どもたちに食事を食べさせてあげられるような場所です。知り合いやご近所の方が調理を手伝ってくれたり、大学生が子どもの面倒をみてくれたりと、多くのご支援が集まり、このたび毎週開催できることになりました。

食材については、農家の方が野菜を分けてくださったり、お肉屋さんから寄付をいただいたりなど個人や企業のご支援のほか、食事代を多めに払ってくれる方もおり、皆さまに支えられて運営しています。こども食堂というと、ひとり親や貧困家庭のものというイメージが強いと思いますが、おじいちゃん、おばあちゃん、学生さんなど、誰でも気軽に立ち寄ることができて、一緒に過ごせる場所を目指していますので、皆さんもお気軽にお立ち寄りください。今までのご協力に感謝しつつ、これからも応援よろしくお願いします。簡単ですがあいさつに代えさせていただきます。

※「こぼとの家」は、架空のこども食堂です。

こども食堂の対象や目的は、団体によりそれぞれ異なります。

令和6年度登録手話通訳者認定試験 手話技能試験
手話の表現

「ハサミさんのおまじない」

先日、母の形見だった大切な指輪をなくしてしまいました。夕食の支度の時に外したのは覚えていたのですが、どこに置いたのか分からなくなってしまったのです。思い当たるところは探したのですが、その日は見つかりませんでした。大切な指輪だったのでハサミを使ったおまじない「ハサミさん」をお願いしたところ、翌日に意外なところから見つかったのです。

この話を職場の同僚に話したのですが、「ハサミさん」を知らないとのことでした。「ハサミさん」は、なくしたものが見つからないときに使うおまじないです。由来や効果の科学的根拠はよく分かっていないのですが、昔からあるおまじないで、テレビで紹介されたことがきっかけで、探し物が見つかるとして一躍有名になりました。

おまじないの手順は簡単で、使うのはハサミだけです。特別なものを準備する必要はなく、愛用しているものでも、たまたま手元にあるものでも効果は変わりません。用意したハサミを自分の耳のあたりで持ち、ハサミをチョキチョキと開閉しながら「ハサミさん、ハサミさん、指輪はどこにありますか」と唱えるだけ。本当にハサミさえあれば、すぐにできます。

絶対に人に見られてはいけないわけではないのですが、ハサミを顔の高さで扱うので耳や顔を傷つけたり、誤って髪の毛を切ってしまう心配があるため、できるだけ一人になれる静かなスペースで落ち着いて行うのが良いそうです。探し物のある場所が指し示されるわけではないのですが、不思議と高確率で、数秒から数日後に思いもよらぬところや、何度も探したところから見つかります。そして、見つかったら喜ぶだけで終わらせず、探し物を引き合わせてくれた「ハサミさん」にきちんと感謝の気持ちを持つことが、このおまじないの大事なポイントだそうです。

一説によると、ハサミを耳の横で扱うため、大事なものが見つからず焦っている気持ちを落ち着かせることで、置いた場所を思い出したり、一度探した場所でも広い視野で見ることが出来るため、探し物が見つかると言われています。とはいえ、「ハサミさん」に頼りすぎず、日ごろから物を大切に扱う心掛けが大切です。そして、ここぞという時をお願いすることで、「ハサミさん」が力になってくれます。今回も、形見の指輪に引き合わせてくれた「ハサミさん」に感謝しつつ、これからはなくさないように一層気をつけたいと思いました。